

女なのか彼女なのかどっちや

「何か、その黒い斑点には訳があるんだろうか」と考えた。

僕は、全く、友達の反応を理解せず、
「真面目な顔で、おもむろに、
洗面所に行き、鏡を見た。」

鏡を見て、僕はびっくり。
吹き出しそうになった。

僕の顔は、全面、炭の黒い斑点が出来て、
まるで、わざと、炭で顔にぶつぶつ付けたみたい。

「おかしいなあ、この電車、
石炭の蒸気機関車じゃないはず。

ジーゼル列車なのに、なぜだ。」
と、思ったが、

「そのはずはない。」と、思っても、
事実は事実。

水で顔を洗ったが、なかなか取れない。
ハンケチがどす黒くなった。
油とすすで、僕の顔は、お化粧したためきだ。

「やはり、どこか、僕は抜けてるなあ。」と思った。

ハンカチでふきながら、自分の顔を見て、
「これは笑われても、しゃあないわ。

ほんまに、おもしろい顔や。」と、
洗面室でケタケタ笑い出した。